

算数

小学校 第5学年

OS・ソフト等

- iPad
- ロイロノート
- NEW! GIFU ウェブラーニング

<単元・題材名等>

分数と小数、整数

ねらい

分数と小数が混じった計算の仕方を考える活動を通して、分数か小数のどちらかにそろえればよいことや小数では正確に表せない時があることに気づき、適切な式に直して計算することができる。

主なICTの活用方法

- ・ 協働学習支援ツール（ロイロノート）の「カード機能」を用いて、どの計算方法を使うのかを明確にする。また、「ポイント機能」を用いたり、根拠を明確にして書いたりすることで、分かりやすい説明をできるようにする。
- ・ 個別支援の手立てとして、NEW! GIFU ウェブラーニングのリアルタイム機能を使い、必要な児童に必要な支援をする。

ICTを通じて育成する資質・能力

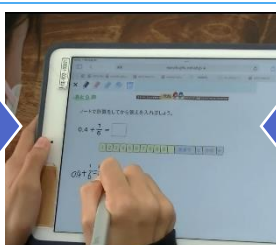
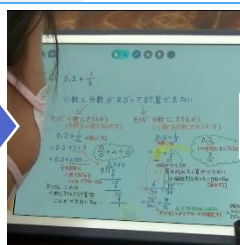
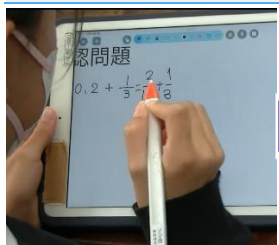
- ・ 同じ解法で考えた仲間同士が、算数用語を用いて指をさしながら筋道立てて説明したり、違う解法で考えた仲間から自分自身と異なる説明を聞き、その解法の高さを理解して自分に取り入れたりすることができる。
- ・ 授業の終末に自分の理解の状況に応じて学習活動を選択し、学んだことを活用して粘り強く学習に取り組むことができる。

実践の概要

本時では、既習の小数と同分母分数の加法・減法から類推するとともに、演繹的に考え、分数と小数の相互変換と通分を用いることで、分数と小数の混じった加法・減法ができ、さらに、分数に変換して計算するよさを理解することをねらいとしている。スクランブル交流では、同じ解法で考えた仲間同士で算数用語を使用し、筋道立てて説明したり、違う解法で考えた仲間の説明からそのよさを自分自身の考え方に取り入れたりできるようにする。また、終末では確認問題を理解できた児童から、NEW! GIFU ウェブラーニングやワークの計算演習など、より多くの問題にチャレンジして個別最適な学びが実現できるようにする。

児童の学びの様子

- 共有した考えの進め方を参考にして、交流する仲間を自分で選択し、自分の考えを修正・強化しようとする姿があった。



- 本時の振り返り問題に一人でじっくり取り組み、自分で解説を見て確認し、自己評価（背景色で理解度を示す）をして提出する姿があった。

- 提出した児童から、NEW! GIFU ウェブラーニングの「きょうのもんだい」に、自分のペースで取り組む姿があった。

指導のポイント

- 考えづくりの際には、教師は個の考えづくりが進むよう、交流を促したり、価値付けたりする。
- 終末は提出された理解の状況や、NEW! GIFU ウェブラーニングの「リアルタイム把握」機能を利用して、個の状況を見届け、必要に応じて適切に支援する。